

2020年3月期 決算説明資料



『ラグーナベイコート倶楽部』2019年3月28日開業

リゾートトラスト株式会社
(証券コード4681)

目次

- ・2020年3月期決算ハイライト、セグメント実績、BS/CF計算書 P. 2-12
- ・重点取り組み・コロナ対策、施設休業・運営状況、
2021年3月期通期計画(未定)、開発スケジュール、在庫状況 P. 13-17
- ・中期経営計画「Connect 50」および取り組み P. 18-20
- ・ESGに関する当社グループの概況 P. 21-22
- ・参考資料 主な動き 各事業詳細データ P. 23-33

※直近3カ月の実績数値は、別途、オフィシャルHPに掲載しております
<https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/supplementary/>

決算ハイライト(4-3月)

| | (百万円) | | | | | <参考> | |
|------|---------------|-----------------|-------|-----------------|--------|-----------------|--------|
| | 2020年3月 実績 | 2020年3月 修正計画 | 修正計画比 | 2019年3月 前年実績 | 前期比 | 2020年3月 期初計画 | 計画比 |
| 売上高 | 159,145 | 160,000 | △0.5% | 179,542 | △11.4% | 171,400 | △7.1% |
| 営業利益 | 11,652 | 12,000 | △2.9% | 18,877 | △38.3% | 16,000 | △27.2% |
| 経常利益 | 12,476 | 12,500 | △0.2% | 19,528 | △36.1% | 16,000 | △22.0% |
| 当期利益 | 7,135 | 7,100 | +0.5% | 12,358 | △42.3% | 10,000 | △28.6% |

<修正計画比> ※修正計画:2020年3月17日発表

発表後の3月後半におけるホテル稼働がやや想定を下回ったことなどから、売上高及び営業利益においては若干計画を下回りましたが、経常利益、当期利益では、ほぼ計画並みとなりました。

<前期比>

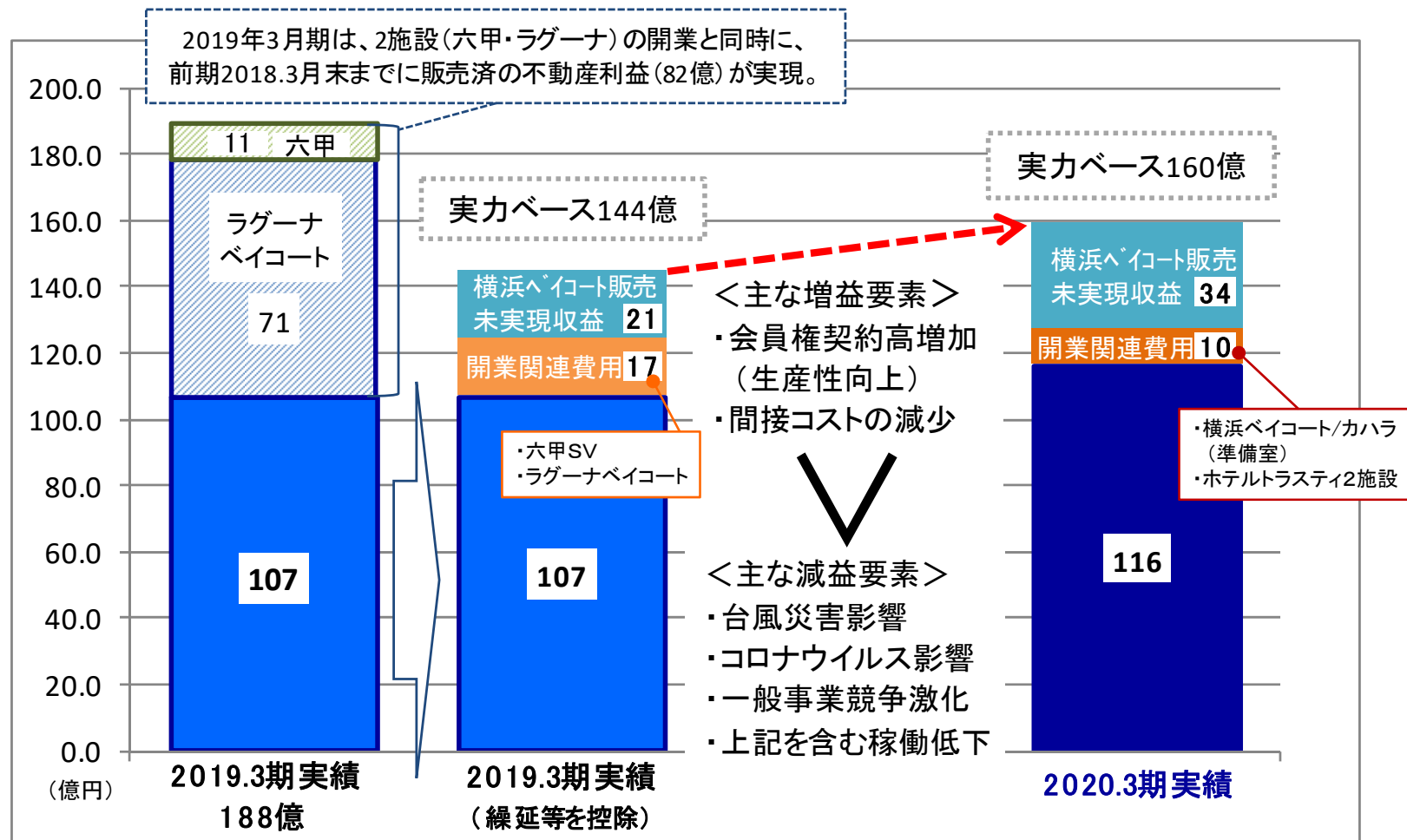
前年には「ラグーナベイコート倶楽部」「エクシブ六甲 サンクチュアリ・ヴィラ」の開業に伴う不動産収益の一括計上がありました。今期は会員制ホテルの開業がないため、減収減益となりました。なお、上記開業の影響を除いた実力数値では売上高、営業利益とも前年を上回っております。

※当資料におきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を、「当期利益」と表記しております。

2020年3月期 通期実績

営業利益の状況(繰延分・開業費の影響を控除)

2020年3月期は営業利益で116億円と減益となったものの、前年の六甲SV・ラグーナ開業に伴う収益や開業費を除いた実力ベースでは、会員権販売の増加等が台風やコロナ影響等を含む稼働低下を補い、増益となった。
 (参考⇒P.31最下段) 繰延・開費業除く実力ベースの利益＝2020.3期:160億、2019.3期:144億(前年比+16億)



※ 未開業物件のホテル会員権販売は、不動産部分の収益計上を開業時まで繰り延べます。詳細はP.32をご参照ください。

事業別 売上高・営業利益(4-3月)

＜売上高＞

(百万円)

| | 会員権 | ホテルレストラン | メディカル | その他 | | 計 |
|-------------|--------|----------|--------|-------|--|---------|
| 2020年3月実績 | 38,948 | 80,659 | 38,867 | 670 | | 159,145 |
| 2019年3月前年実績 | 64,029 | 80,383 | 34,478 | 651 | | 179,542 |
| 前期比 | △39.2% | +0.3% | +12.7% | +3.0% | | △11.4% |

＜営業利益＞

(百万円)

| | 会員権 | ホテルレストラン | メディカル | その他 | 本社費(間接費) | 計 |
|-------------|--------|----------|-------|--------|----------|--------|
| 2020年3月実績 | 13,559 | 92 | 5,829 | 663 | △ 8,491 | 11,652 |
| 2019年3月前年実績 | 19,004 | 2,624 | 6,144 | 572 | △ 9,468 | 18,877 |
| 前期比 | △28.7% | △96.5% | △5.1% | +15.9% | +977 | △38.3% |

対比数値は金額差異

＜参考:償却前セグメント利益※＞

(百万円)

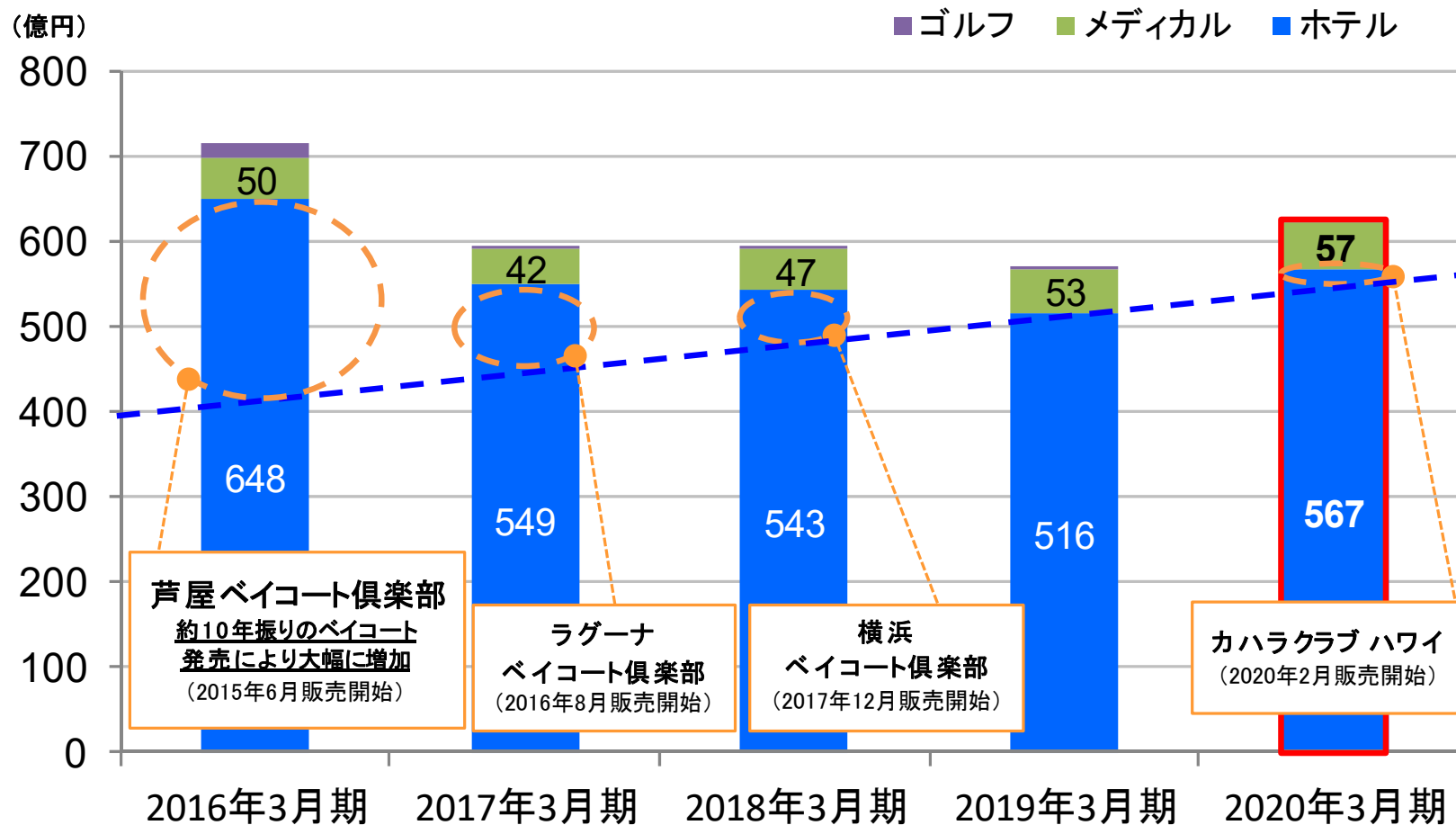
| | 会員権 | ホテルレストラン | メディカル | その他 | 本社費(間接費) | 計 |
|-------------|--------|----------|-------|-------|----------|--------|
| 2020年3月実績 | 13,608 | 6,504 | 7,526 | 996 | △ 6,543 | 22,092 |
| 2019年3月前年実績 | 19,053 | 8,385 | 7,480 | 920 | △ 7,772 | 28,067 |
| 前期比 | △28.6% | △22.4% | +0.6% | +8.3% | +1,229 | △21.3% |

※償却前セグメント利益(≒EBITDA) = 営業利益+減価償却費+のれん償却費にて算出

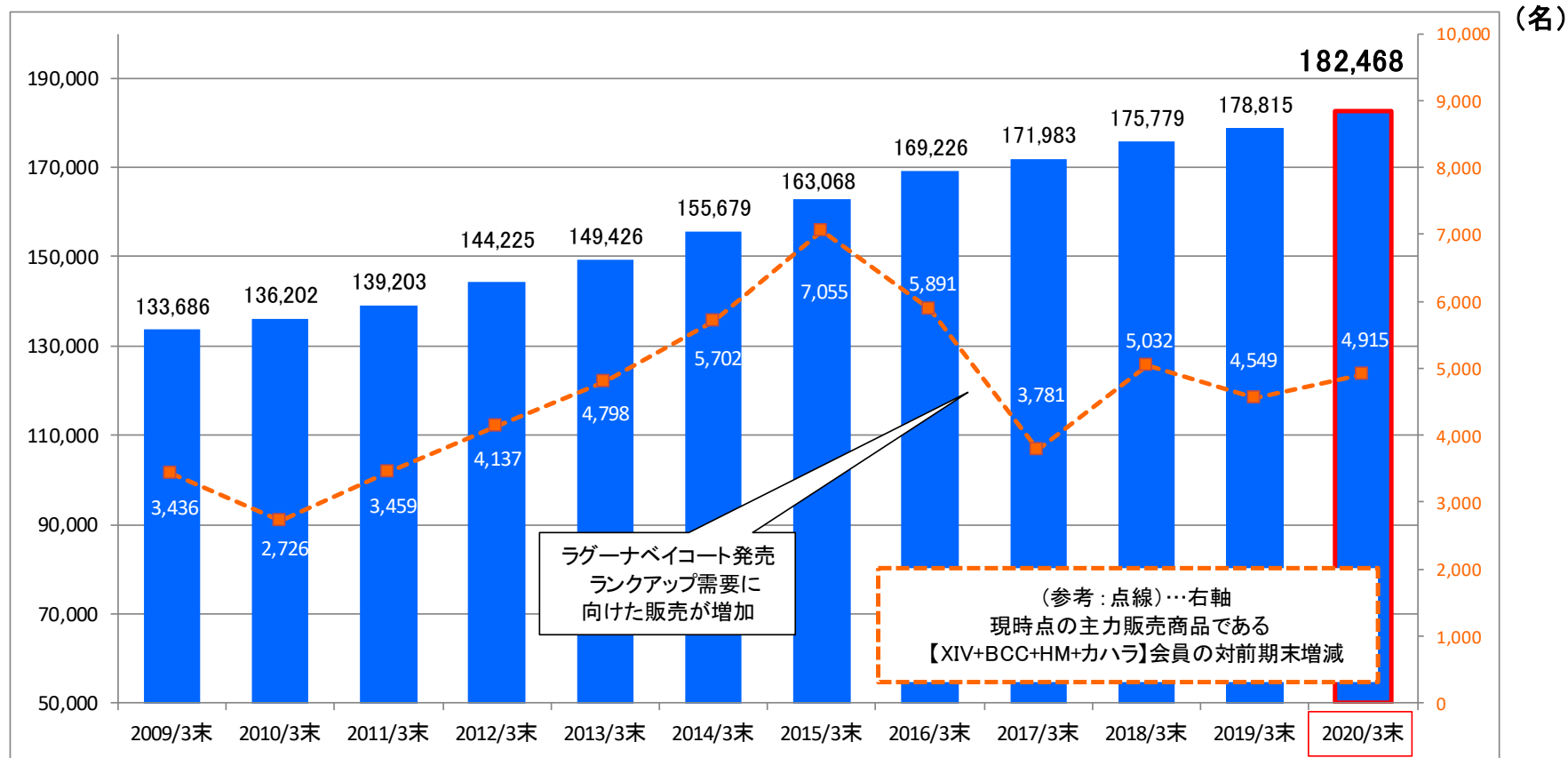
対比数値は金額差異

契約高の推移(4-3月)

- ・ホテル会員権契約高は、過去の新規発売効果(イメージ)を除いたトレンドとして好調に推移。
- ・4Q(1-3月)には、既存会員向けに、「ザ・カハラクラブ ハワイ」を発売(2月25日より販売開始)。
- ・2018年10月より新商品として販売を開始したハイメディックも、2020年3月期は過去4期を上回り堅調な実績。



会員数の推移



(名)

| | ベイコート | エクシブ | サンメンバーズ | ゴルフ | メディカル | クルーザー | カハラクラブ | 合計 |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|
| 2019年3月末 | 18,255 | 77,592 | 32,478 | 30,260 | 19,839 | 391 | - | 178,815 |
| 2020年3月末 | 20,507 | 77,982 | 31,485 | 30,001 | 21,534 | 381 | 578 | 182,468 |
| 2020年3月期増減 | +2,252 | +390 | △993 | △259 | +1,695 | △10 | +578 | +3,653 |
| 2019年3月期増減 | +2,462 | +372 | △1,094 | △411 | +1,715 | △8 | - | +3,036 |

| | |
|-----------------------|-------|
| XIV+BCC+HM +カハラ 合計 | 4,915 |
|-----------------------|-------|

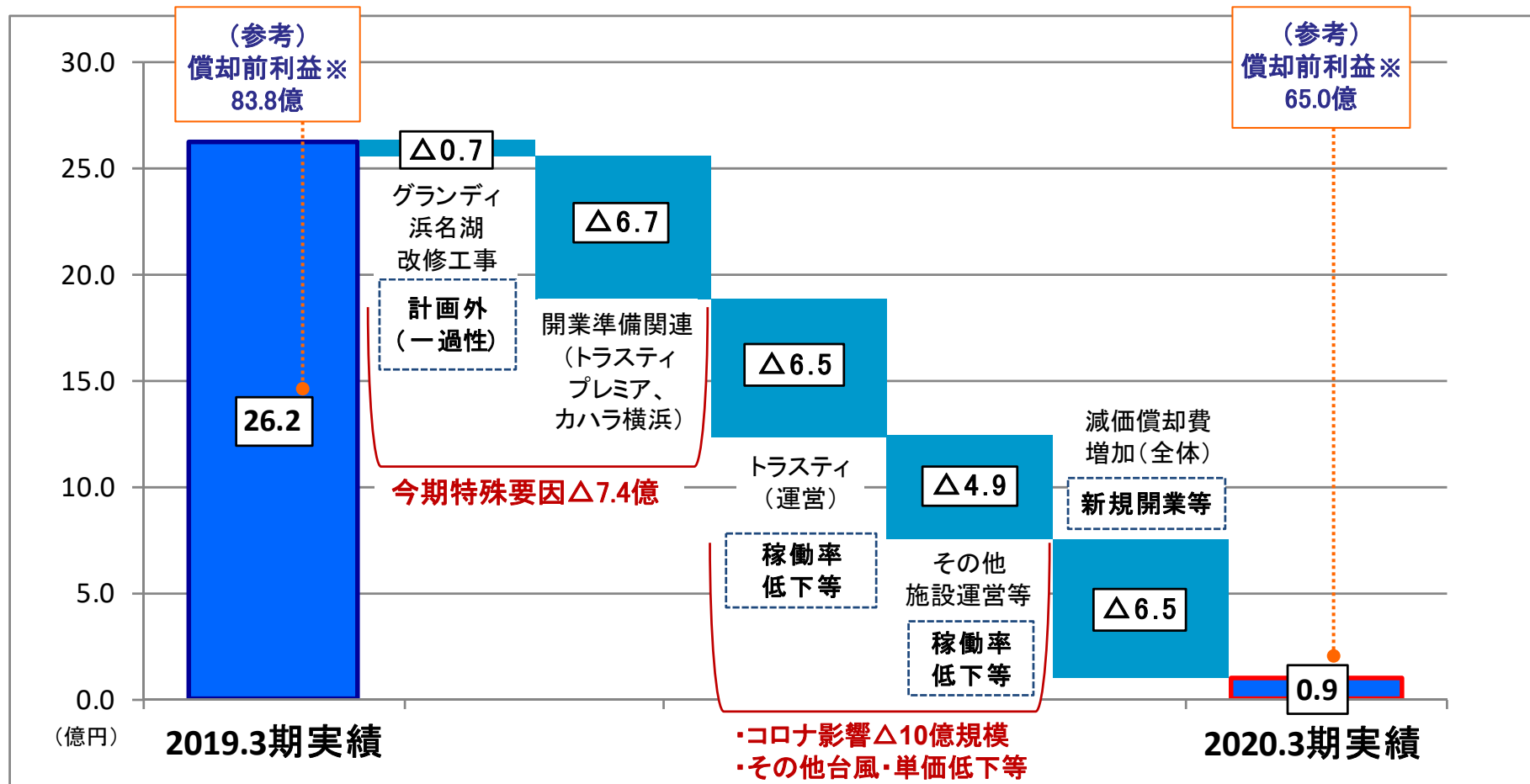
| | |
|--|-------|
| | 4,549 |
|--|-------|

※会員権を複数所有されているケースについては、それぞれの会員権で1名ずつカウントしております

2020年3月期（対前期）

ホテルレストラン等セグメント営業利益の状況

・当期はトラスティ等の開業にかかる先行費用の△6.7億円など一時的な費用が発生しているほか、減価償却費などの固定費の増加に対し、台風影響や一般ホテルの競争激化、コロナ影響等を含め、リゾート及び一般ホテルにおける運営収入の伸び悩みが主要因となり、前年を下回る推移となった。

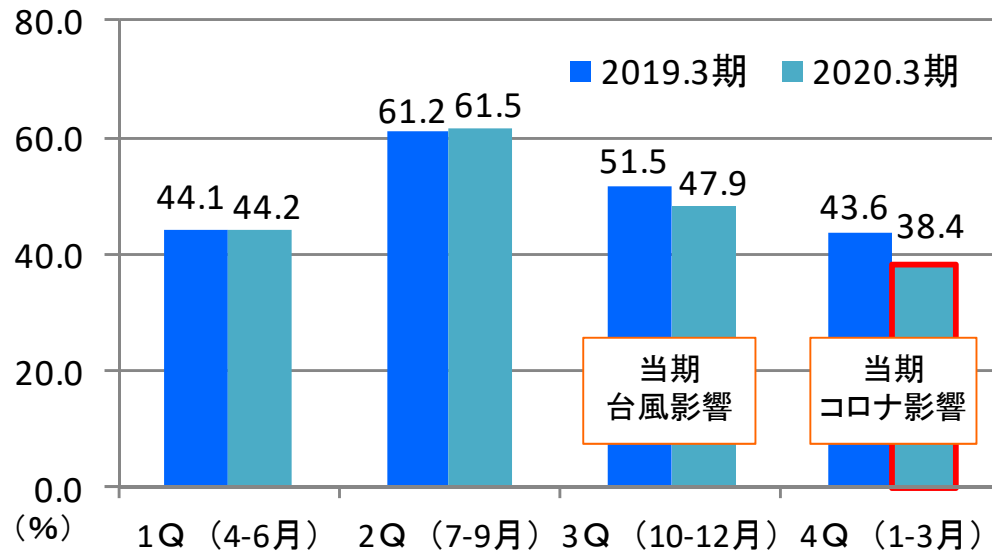


※償却前セグメント利益(≒EBITDA)は、営業利益+減価償却費+のれん償却費にて算出しております

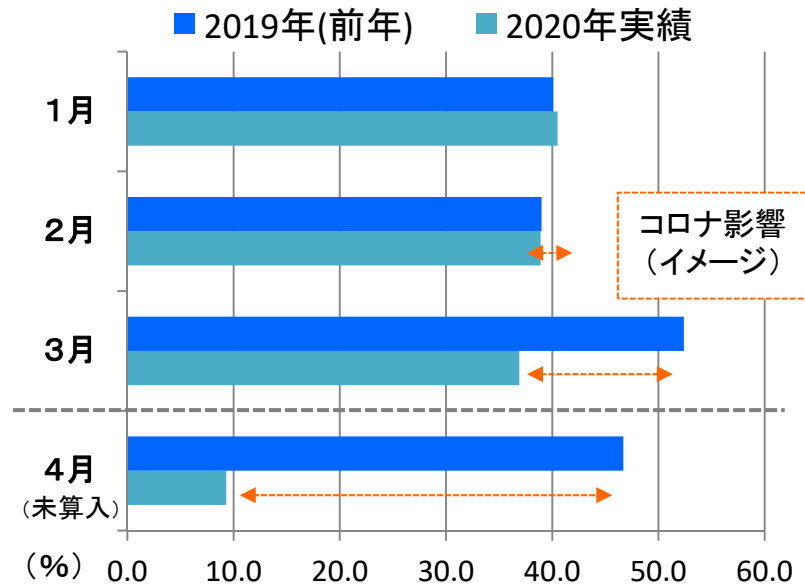
四半期別 ホテル稼働率の推移①

4Q(1-3月)のエクシブ稼働率は前年比プラスで推移していたが、2月後半より徐々に新型コロナウイルスの影響を受け始めた。3月はキャンセルが発生する中でも利用ニーズは衰えなかったが、4月の緊急事態宣言発令後は、一部営業休止もあり大きく低下。

エクシブ稼働率(全体)



<エクシブ:直近の月別稼働率> ※クローズ期間の室数を分母に含む



<参考:3月に施設を利用された会員の声(抜粋)>

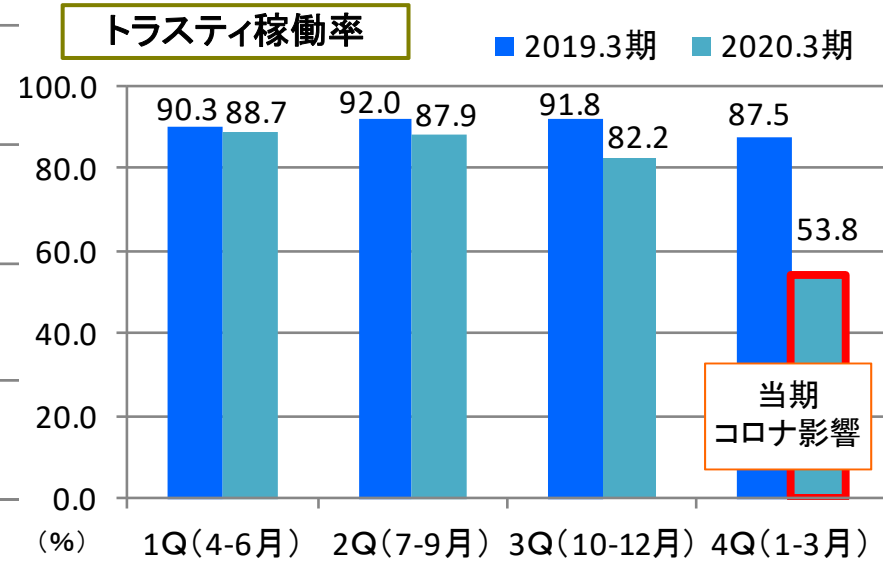
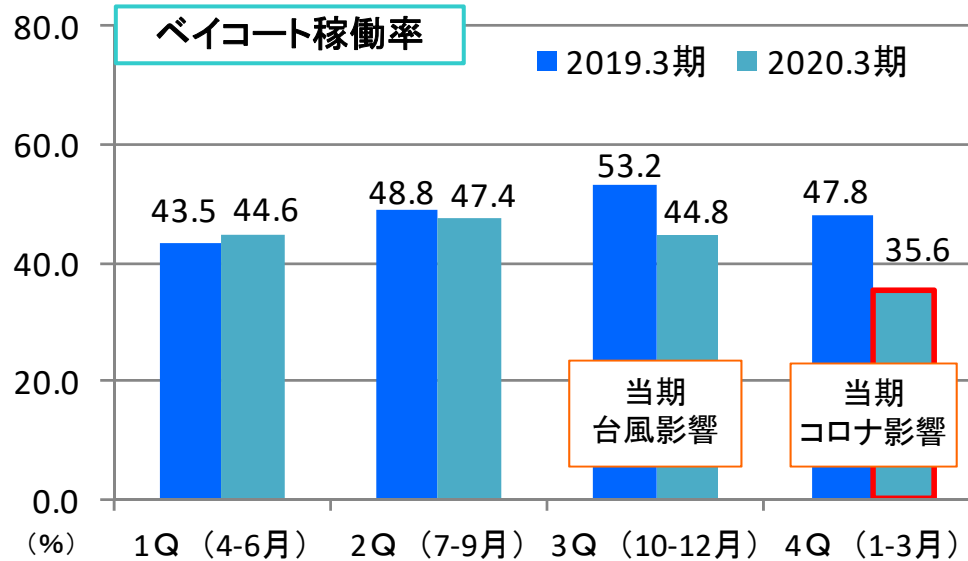
- ・海外旅行/クルーズ船をキャンセル、近場の会員制ホテルに切り換えた。
- ・ノンストップチェックイン・アウトで接触せずに部屋に入れるのが安心。
- ・孫が暇そうにしていたから連れてきたけど、やっぱり来てよかった。
- ・遠出をやめて近くのベイコートを初めて利用したが、感動した。
- ・公共交通機関は怖いので車で行ける距離にエクシブがあって良かった。
- ・レストランが個室タイプ、お部屋に温泉があるので安心。

- ・1月、2月は前年比プラスで推移していたが、2月の後半にキャンセルが出始め、結果2月は前年並みにとどまった。
- ・3月はキャンセル、予約両方があり前年比2/3程度で推移。
- ・4月は緊急事態宣言を受けて施設を一部クローズし、営業施設を集約しつつ、最大限に感染対策を図って運営。政府からの外出自粛要請もあり、新規予約は大きく低下。 ※施設のクローズに関する情報は、P.14参照

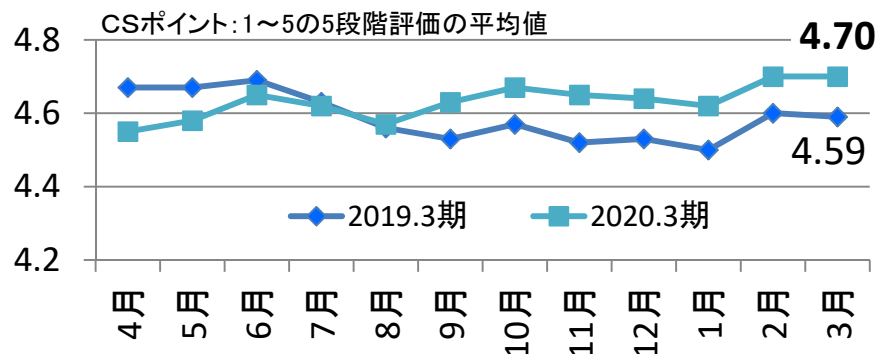
※緊急事態宣言が発令される前の時点における、ご利用時の意見

四半期別 ホテル稼働率の推移②

ベイコートはここ2年で芦屋・ラグーナの2施設開業、通期稼働。一室あたり会員数の低下と、下期の外部要因が重なった。トラスティは今期2施設開業も、競争環境激化。インバウンド減少に加え、新型コロナウイルスの影響により、稼働率低下。

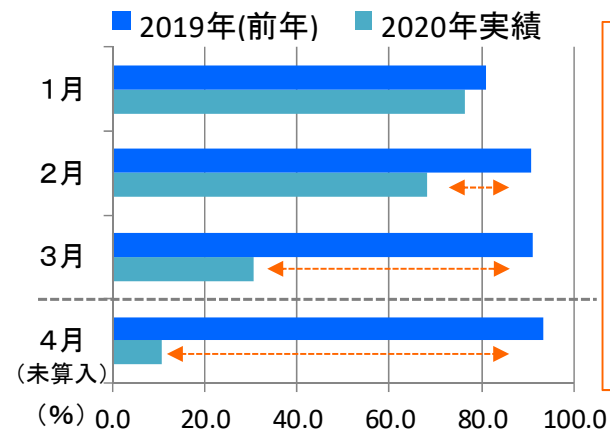


＜(参考)月別CSポイント(顧客満足度)＞※エクシブ+ベイコート



満足度は今期、2Q以降、改善傾向が続いている

＜トラスティ:直近の月別稼働率＞※クローズ期間の室数を分母に含む

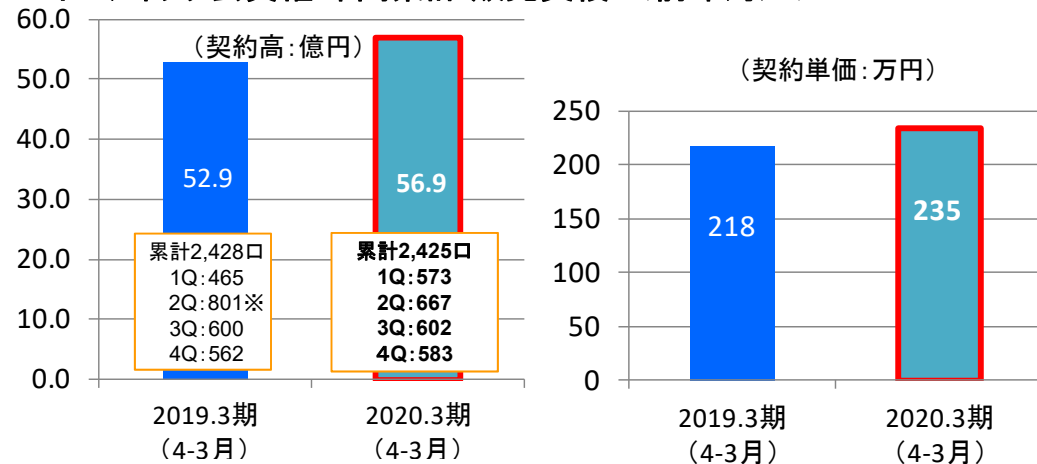


・トラスティは、会員制施設に比べ、より早い段階で低下が顕著に。
 ・3月には前年の1/3程度。4月にはさらに厳しい状況となった。
 ※施設のクローズに関する情報は、P.14参照

メディカル事業の進捗・新規展開

- ・2020年3月期のハイメディック会員権は、引き続き販売好調。単価の上昇より契約高が進展(前年比+4億)。
- ・新型コロナウイルスへの感染対策は、クリニックの運営開始時期やシニア施設入居者募集にも影響を及ぼしている。

◆ ハイメディック会員権:年間累計 販売実績 <前年対比>



※2019.3期2Qは従来商品→新商品 改定前の駆け込み影響あり

| 従来商品 | | |
|------|---------|-------------|
| 会員種別 | 新規 | 買い増し(2口目以降) |
| 価格 | 225万円 | 175万円 |
| 会費 | 年会費50万円 | |

2018年10月以降新商品

| 新商品『グランドハイメディック倶楽部Premium』(税抜き) | | |
|---------------------------------|-----------------------|-------------|
| 会員種別 | 新規会員 | 買い増し(2口目以降) |
| 価格 | 300万円 | 200万円 |
| 会費 | 月会費制:4.6万円/『年間55.2万円』 | |

◆ ハイメディック会員権:新拠点 販売開始

2019年10月16日～『ハイメディック東京日本橋コース』

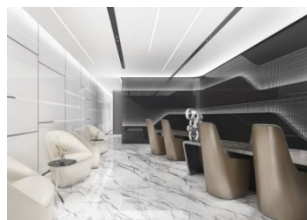
所在地 : 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号
日本橋室町三井タワー 7F

検診開始 : 2020年6月予定 募集口数 : 約3,000口

<MS(メディカルサービス)法人事業>
企業健診や内科など一般の外来診療を行う「日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック」で2020年4月開設予定を延期したものの、5月以降、部門別に順次運営を開始。



日本橋室町三井タワー 外観



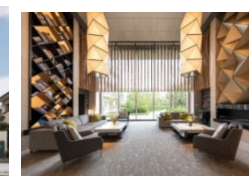
受付イメージ



個室イメージ

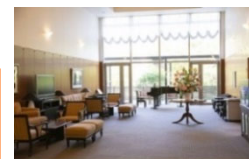
◆ シニアライフ事業の新規展開

2019年8月1日～
『トラストガーデン荻窪』
所在地:東京都杉並区
居室数:51室(介護付)
2020.3末入居率:52.9%



2019年9月～
『株式会社シニアライフカンパニー』新規連結
5施設 計390室 2020.3末入居率(5施設計):93.3%

『フェリオ多摩川』 70室(介護付) 東京都大田区
『フェリオ成城』 65室(介護付) 東京都世田谷区
『フェリオ天神』 95室(介護付) 福岡市中央区
『フェリオ百道』 98室(介護付) 福岡市早良区
『レジアス百道』 62室(住宅型) 福岡市早良区



2020.3末入居率(全23施設):88.5%<対前年+2.1P>

足元で改善傾向にあるが、感染症対策により見学等が困難になったことが入居率改善に向けてハードルになっている。

連結貸借対照表

(百万円)

| | 2019年3月期末 (前期) | 2020年3月期末 (当期) | 増減 | | 2019年3月期末 (前期) | 2020年3月期末 (当期) | 増減 |
|-------------|-------------------|-------------------|----------------|-----------------|-------------------|-------------------|---------------|
| 流動資産 | 135,754 | 125,296 | △10,458 | 流動負債 | 70,764 | 67,192 | △3,571 |
| 現金及び預金 | 26,742 | 21,164 | △5,577 | 仕入債務 | 1,471 | 1,117 | △354 |
| 売上債権 | 8,891 | 8,233 | △657 | 借入金 | 6,839 | 8,107 | +1,268 |
| 営業貸付金 | 46,623 | 53,549 | +6,926 | 一年内社債 | 250 | 150 | △100 |
| 有価証券 | 4,647 | 499 | △4,148 | 未払金 | 33,495 | 15,632 | △17,863 |
| 商品・原材料・貯蔵品 | 2,511 | 2,182 | △329 | 前受金 | 12,209 | 22,028 | +9,819 |
| 販売用不動産 | 30,049 | 22,077 | △7,971 | その他 | 16,497 | 20,155 | +3,657 |
| 仕掛販売用不動産 | 11,845 | 12,357 | +511 | 固定負債 | 198,611 | 200,649 | +2,038 |
| その他 | 4,442 | 5,231 | +788 | 社債・長期借入金 | 39,573 | 31,316 | △8,257 |
| 固定資産 | 265,671 | 275,537 | +9,865 | 長期預り保証金 | 101,595 | 101,768 | +173 |
| 有形固定資産 | 180,001 | 193,748 | +13,746 | 新株予約権付社債 | 29,813 | 29,770 | △42 |
| 無形固定資産 | 11,806 | 10,580 | △1,226 | その他 | 27,628 | 37,793 | +10,165 |
| 投資その他の資産 | 73,862 | 71,208 | △2,654 | 負債合計 | 269,375 | 267,842 | △1,533 |
| | | | | 純資産合計 | 132,050 | 132,991 | +941 |
| | | | | 株主資本 | 127,927 | 129,652 | +1,725 |
| | | | | 自己株式 | △1,852 | △1,802 | +49 |
| | | | | その他の包括利益累計額 | 1,355 | △50 | △1,406 |
| | | | | 新株予約権 | 292 | 313 | +21 |
| | | | | 非支配株主持分 | 4,326 | 4,878 | +551 |
| 資産合計 | 401,426 | 400,833 | △592 | 負債・純資産合計 | 401,426 | 400,833 | △592 |

連結キャッシュ・フロー計算書(4-3月)

(百万円)

| | 2019年3月 (前期) | 2020年3月 (当期) |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,674 | 19,096 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,057 | △ 8,247 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 23,198 | △ 13,364 |
| 換算差額 | 8 | △ 3 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 8,573 | △ 2,518 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 23,895 | 21,376 |

事業別重点取り組み・コロナ対策

2020年3月期(中計2年目)

2021年3月期(コロナ対策等)

会員権

- 〈契約高の伸展〉 契約高前期比+10%(ホテル)
- ▶ ラグーナ価格改定 ▶ 既存物件新商品:「バージョン20」発売
 - ▶ デジタル化推進等による時間生産性向上:前期比+10%
 - ▶ 「ザ・カハラクラブ ハワイ」販売開始:2/25~契約高19億

- ▶ 営業活動時における検温その他感染予防策の徹底
- ▶ テレワーク、一部休業等の柔軟な勤務に対する生産性の確保
- ▶ コロナ禍における、業種別の経済実態に応じたマーケティング

ホテルレストラン

- 〈稼働率向上策〉 ⇒引き続き対策強化が急務
- ▶ ポイント会員数:21万人 ▶ WEB予約:前期比+4P(16%⇒20%)
 - ▶ オーナーメリット向上、CSアップ:3月末時点前期比+0.11P
 - ▶ 大規模法人利用促進:前期比+8%(コロナ影響除く2月累計)
- 〈働き方改革・収益性の改善〉
- ▶ 生産性向上:年間シフト△80H(2,045H⇒1,965H) ▶ 固定収入増
- 〈ホテルトラスティプレミア進出〉(9月日本橋、10月熊本)

- 〈感染防止対策および三密回避対策〉
- ▶ 入館時の書面健康チェック、ノンストップ・チェックイン/アウト
 - ▶ レストラン:2m以上の間隔、状況に応じ入場制限/クローズ
 - ▶ ブッフェスタイル提供中止、夕食/朝食ルームサービス提供
 - ▶ 従業員の検温徹底、パブリックスペース等3時間毎の消毒
- 〈費用の抑制・運営施策〉
- ▶ 固定費を中心とした費用の縮減(50億規模)
 - ▶ 営業施設の一部集約(次頁参照)、宅配サービス等の検討

メディカル

- 〈ハイメディック販売拡大〉 契約高前期比+8%
- ▶ 下半期、日本橋エリア新拠点の発売:10/16~501口
 - ▶ ハイメディックアプリ導入・サービス拡充:アプリ導入
 - ▶ インバウンド向け販売 ⇒コロナ影響見据え、継続検討
- 〈シニアライフ事業 施設数拡大・入居率向上〉
- ▶ 開業・取得施設のスムーズな運営:6施設、390室増加
 - ▶ 入居率向上策 ⇒営業人員増強、グループ会員向け強化
 - ▶ 新拠点の展開 ⇒コロナ影響を見据え、継続的に検討
- 〈BNCT事業〉 研究機器納入、11月より治験:順調に進捗

- 〈感染防止対策および三密回避対策〉
- ▶ 感染管理のための物品確保(消毒、ゴーグル、防護服等)
 - ▶ (ミッドタウンクリニック)ホテル等グループの他施設と連携、対策指導と衛生管理の強化
 - ▶ (健診・人間ドック)状況に応じて稼働調整
 - ▶ (シニア施設)消毒徹底、面会、入館及び外出の制限等
- 〈グループ顧客向けサービスの充実〉
- ▶ 初診からの遠隔診療(4/24~5/7に実施)※従来は再診のみ
 - ▶ 感染対策メール相談、ポイント会員向け情報発信

本社

- 〈デジタル化、働き方改革の推進〉
- ▶ 年間休日数増加:110日⇒120日
 - ▶ ITの徹底活用:デジタルマーケティング活用による会員権販売
前期比+160%(2019.3=6億⇒2020.3=16億)
 - ▶ 本社間接部門コスト見直し:本社費減少(継続的に削減)

- ▶ 安定資金確保のための特別融資(銀行借入)の実行
- ▶ コミットメントライン借入枠800億設定済 ※震災・買収用300億含む
- ▶ 役員報酬一部返上・減額その他、各種費用の縮減
- ▶ 従業員への休業補償(国が定める最低保証の割合に対し上乗せ補填)

コロナ影響による施設休業・運営状況

◆2020年5月21日発表時点の主な施設の運営・休業状況(予定)

…運営

…クローズ

※今後の予定につきましては、随時、変更となる可能性があります。直近の状況及び詳細情報は、当社オフィシャルホームページ「おしらせ」にてご確認ください

※運営施設においては、お客様・従業員の安全のため衛生強化に努めております(ご参考:リゾートトラストの感染予防策 <https://rt-clubnet.jp/hotels/sp/measures/>)

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|------------|-------------------------------------|----|--|----|
| エクシブ・ベイコート | 内8施設(計1,493室): ベイコート×3、離宮×4、六甲SV | | | |
| | 内3施設(計536室): 初島、伊豆、淡路島 | | | |
| | 18施設(計2,270室): 他エクシブ | | ※グランドエクシブ浜名湖の休業は、4/29~5/10 | |
| サンメンバーズ | 内2施設(計210室): 白川、鹿児島 | | ※料飲部門はクローズし、宿泊特化にて営業 | |
| | 8施設(計736室): 他サンメンバーズ | | ※4月のクローズ開始日は施設により異なる リゾートピア熱海の休業期間は、4/25~5/31予定 | |
| トラスティ | 内3施設(計652室): 東京ベイサイド、名古屋、大阪阿倍野 | | ※4月のクローズ開始日は施設により異なる | |
| | 7施設(計1,296室): 他トラスティ | | ※料飲部門はクローズし、宿泊特化にて営業 | |
| カハラ | 1施設(計338室): ハワイ | | ※海外のため連結損益への算入は3ヵ月ズレ(2021.3期=2020年1月~2020年12月) | |
| メディカル | 全7コース: ハイメディック | | ※HM東大病院は通常営業 | |
| | 全17施設: 健診・クリニック | | ※一部施設は通常営業 | |

※5/1時点での未開業施設を含まず

2021年3月期 通期計画(未定)

<連結損益>

(百万円)

| | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 計画 | 差異 |
|-------------------|----------------|---|----|
| 売上高 | 159,145 | 未定 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動への影響が計り知れない状況にあり、自粛を背景に需要が減退し、経済は急速に悪化することが予想されます。今後、合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示いたします | |
| 営業利益 | 11,652 | | |
| 経常利益 | 12,476 | | |
| 当期純利益 | 7,135 | | |
| 一株あたり 当期純利益(円) | 66.65 | | |
| 一株あたり 配当金(円) | 40.00 | | |
| 契約高合計(億円) | 627 | | |

| | | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 計画 | 差異 |
|----------|------|----------------|-------------------|----|
| 会員権 | 売上 | 38,948 | 未定 (同上) | |
| | 営業利益 | 13,559 | | |
| ホテルレストラン | 売上 | 80,659 | | |
| | 営業利益 | 92 | | |
| メディカル | 売上 | 38,867 | | |
| | 営業利益 | 5,829 | | |
| その他 | 売上 | 670 | | |
| | 営業利益 | 663 | | |
| 本社費(間接費) | 営業利益 | △ 8,491 | | |
| 合計 | 売上 | 159,145 | | |
| | 営業利益 | 11,652 | | |

<対前期変動要素の主な内容>

<売上高/営業利益>

- ・前期繰延実現(開業による繰延収益計上、期中繰延除く)
2020.3期:なし
2021.3期:横浜ベイコート 売上高202億、営業利益66億

参考:横浜ベイコートの販売済み繰延金額(億円)

| | 2018.3期 | 2019.3期 | 2020.3期 | 累計 |
|-------|---------|---------|---------|-----|
| 不動産売上 | 35 | 62 | 105 | 202 |
| 不動産利益 | 12 | 21 | 34 | 66 |

- ・開業関連費用差異
2020.3期:トラスティ等 2021.3期:横浜ベイコート/カハラ
- ・減価償却費増加
横浜ベイコート/カハラ(開業後)、システム投資等
- ・年会費増加
横浜ベイコート(開業後)、HM・エクシブ会員増
- ・BNCT機器収入減少
2020.3期:売上高14億、営業利益2億 2021.3期:なし

◆ 新型コロナウイルスに関する影響(影響額未定)

- ・営業活動の一部縮小、会員権販売契約高の減少
- ・会員制ホテル稼働の低下、施設の一時クローズ
- ・一般向けホテル稼働の低下、施設の一時クローズ(ザ・カハラ・ホテル & リゾートを含む)
- ・一般向け健診施設の一時クローズ
- ・シニア向け施設の新規入居者数の低下
- ・固定費の削減、変動費の抑制、社員休業に伴う補償 等

開発スケジュール(進捗状況)

赤枠内表示は、本中計策定時を基にした想定であり、変更の可能性があります
(今後については、市場環境の変化等を見据え、継続的に検討)

<販売および開業スケジュール_2020年5月21日時点>

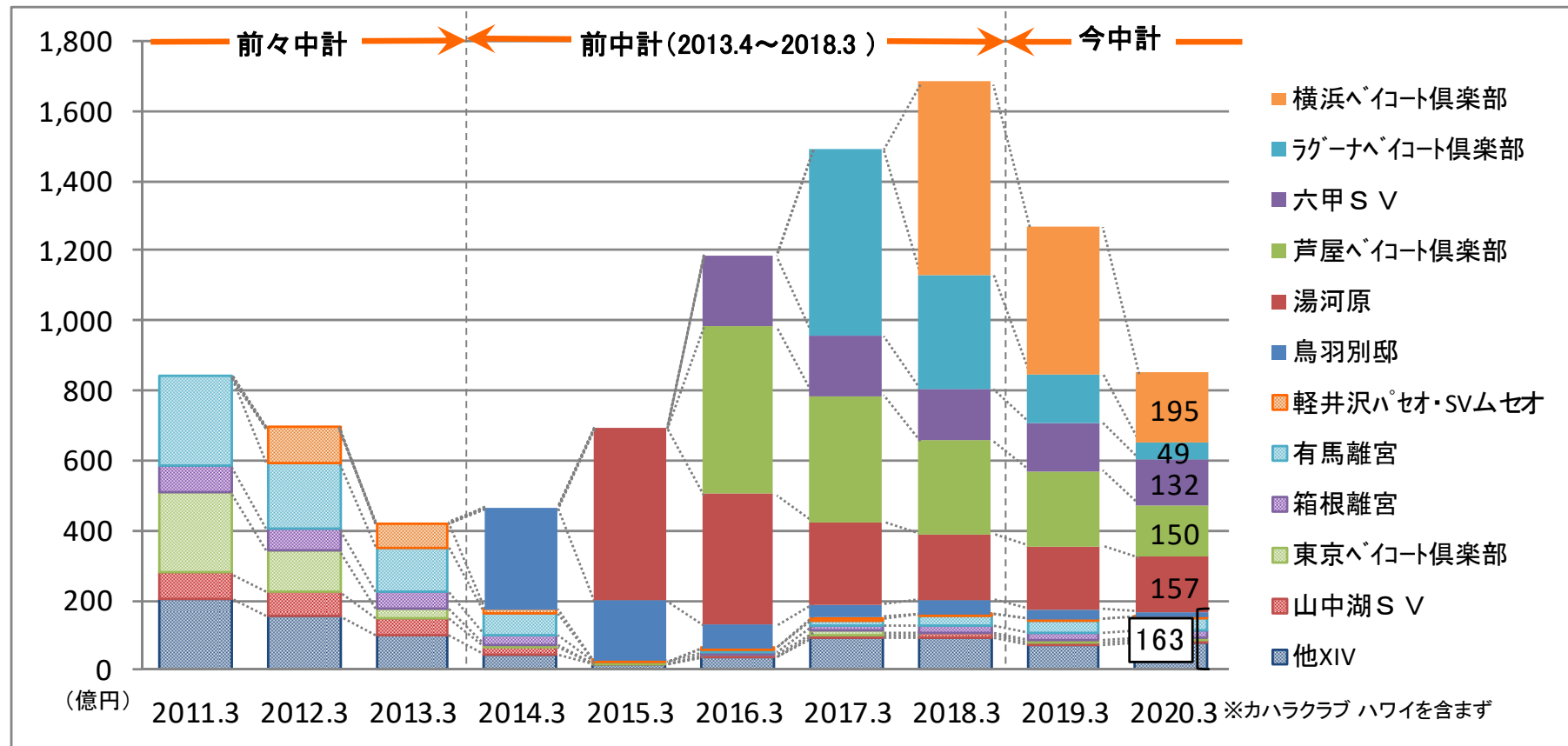
● 販売開始 ● 開業・取得 ● リニューアルオープン

| 中計 | | 前中計「Next40」 | | | | | 本中計「Connect 50」 | | | | | |
|-----------------|----------------------|-------------|--------|-------------|------------|------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 年度 | | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | |
| 販売・開業 スケジュール | 会員制 リゾートホテル | ● エクシブ鳥羽別邸 | | ● エクシブ湯河原離宮 | | | ● 横浜ベイコート | | | | | |
| | | ● 芦屋ベイコート | | | ● エクシブ六甲SV | | ● カハラクラブ ハワイ | | | | | |
| | | ● ラグーナベイコート | | | | | ● 関西 | | | | | |
| | | | | | | | ● 関東 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 開業 スケジュール | ラグジュアリー (LH) | ● カハラ | | | | | ● カハラ横浜 | | | | | |
| | ホテル トラスティ (HT) | ● 金沢 | | | | ● 白川 | ● 日本橋浜町 | | | ● HT① | | |
| | 会員制 検診クラブ | ● ミッドタウン | ● 東京ベイ | | ● 京大病院 | ● 東京日本橋 | | | | | | |
| | シニア レジデンス (SR) | ● 御影 | ● 等々力 | ● 本郷 | ● 常盤松 | ● アクティバ 荻窪 | ● 馬車道 | ● 白壁 | ● 荻窪 | ● SR① | ● SR③ | ● SR⑤ |
| | | ● 東横町 | | | ● 四条烏丸 | ● 5施設※ | | | ● SR② | ● SR④ | ● SR⑥ | |
| リニューアル | | ● 箱根 | ● 別府 | | ● 白川 | | | | | | | |
| | | | | ● 鳥羽 | | | | | | ● 熱海 | ● 新宿 | |

※ 介護付有料老人ホーム「フェリオ多摩川」、「フェリオ成城」、「フェリオ天神」、「フェリオ百道」、および住宅型有料老人ホーム「レジラス百道」

販売在庫(契約高ベース)の推移

- ・前々中計期間(2008.4~2013.3)、リーマンショックと震災影響により開発を後ろ倒しにしたことで、在庫を圧縮。
- ・前中計期間(2013.4~2018.3)、蓄積された需要に向け開発・販売を加速し、一時在庫は1,600億円超まで増加。
- ・今中計に入り、2年経過。販売在庫は2020.3末で846億円と、およそ2年分を保持。今期中の新規着工を検討。



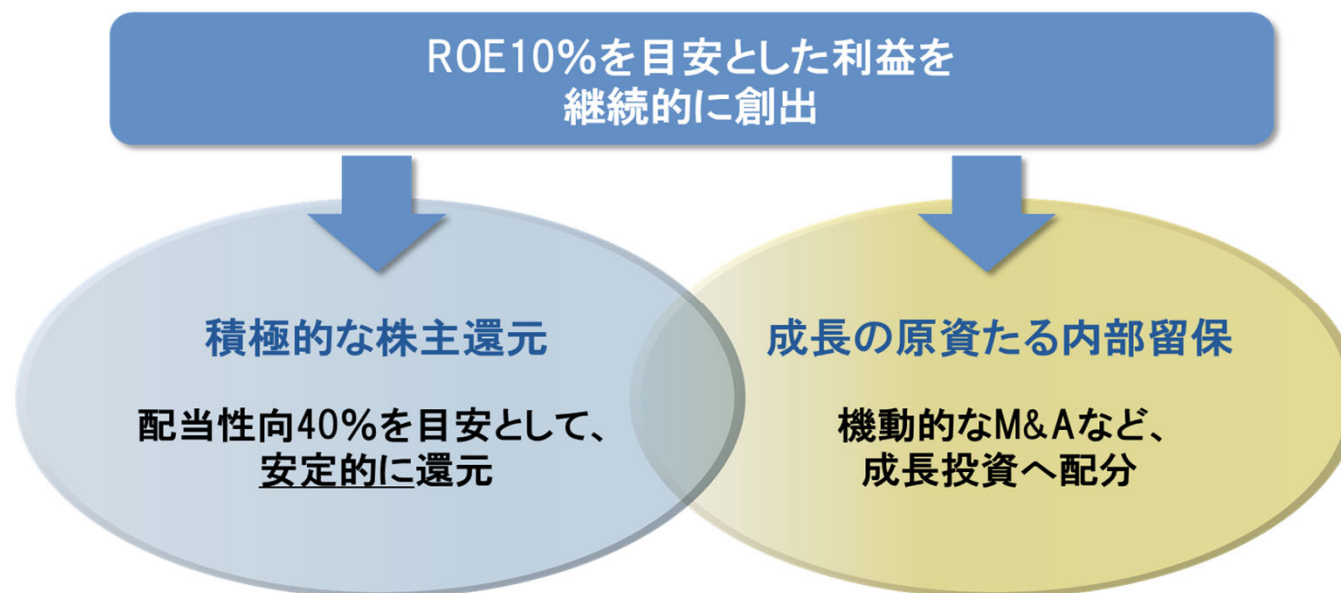
※取得済み開発用地: 鬼怒川、千葉(雀島・保田)、軽井沢、箱根強羅、熱海伊豆山、浜名湖、高島 (2020.3時点)

中期経営計画「Connect 50」定量計画

| 単位(億円) | 2017年度 (前中計最終年度実績) | 2022年度 (Connect50 最終年度) |
|--------|-----------------------|----------------------------|
| 売上高 | 1,654 | 2,100 |
| 営業利益 | 177 | 240 |
| 経常利益 | 194 | 240 |
| 当期純利益 | 118 | 160 |

＜2020年5月時点＞
今中期経営計画については、2021年度より適用開始される「収益認識に関する会計基準」の影響や、外部環境の変化を踏まえ、2020年度中を目途にローリングを検討しております。

| | | |
|---------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| 2022年度 セグメント概況 (想定) | 会員権: 開業時繰延実現は減少するも収益規模維持 | メディカル: セグメント利益100億円突破 |
| | ホテルレストラン: 売上高1,000億円突破・利益率8%目処 | 本社費: 連結売上高の4~5%目処で推移 |



中期経営計画「Connect 50」セグメント別サマリー

会員権事業



「ザ・カハラ・クラブ」会員権
販売開始による新たな展開
会員制事業の
サステナブルモデル確立へ

◎販売口数の増加、時間当たり生産性の向上

- 2022年度契約数:5,500口(2017年度比+40%)
- 2022年度時間生産性:5.1万円(2017年度比+20%)
- 2022年度関東支社契約高割合:52%(2017年度比+7P)

◎「ザ・カハラ・クラブ ハワイ」2019年度以降販売開始

ホテルレストラン等事業



生産性・収益性の飛躍的向上
カハラブランドグローバル展開、
一般向け事業領域の拡大
(ビジネス、ラグジュアリー)

◎エクシブ+ベイコート合計 稼働率

- 2022年度: 55.5% (2017年度比+4.0P)

◎年会費+保証金償却収入増加見込み

- 2022年度:2017年度比+30~35億円

◎ホテルトラスティ展開

- 2022年度:12施設展開(2017年度比+4施設)
- 2022年度:売上100億円突破(2017年度比+60%)

メディカル事業



先進医療とのシナジー創出、
日本一の「総合メディカル
ソリューション」グループへ
シニアハイグレードマーケット
No.1を目指す

画像提供:GEヘルスケア・ジャパン(株)

◎ハイメディック事業/MS(メディカルサービス)法人事業

- ハイメディック販売:年間2,360口(既存施設活用+新施設)
- 2022年度一般健診数:70万人(2017年度比+40%)

◎エイジングケア事業(物販)

- 2022年度顧客数:50万人(2017年度比+200%)

◎シニアライフ事業

- 3,000室体制とし売上1.6倍、営業利益 約3倍(2017年度比)

グループブランドの強化・浸透への取り組み

2019年4月、今中計「Connect50」のグループブランド強化・浸透への取り組みの一つである「RTTGポイントクラブ」をスタート。当施策をはじめ、お客様との接点を充実させていくことで、個別の事業・商品ブランドにおける価値創出にとどまらない「一生涯」を通じたお付き合いをさせていただける、唯一無二のグループブランドへ向けた取り組みを推進していきます。

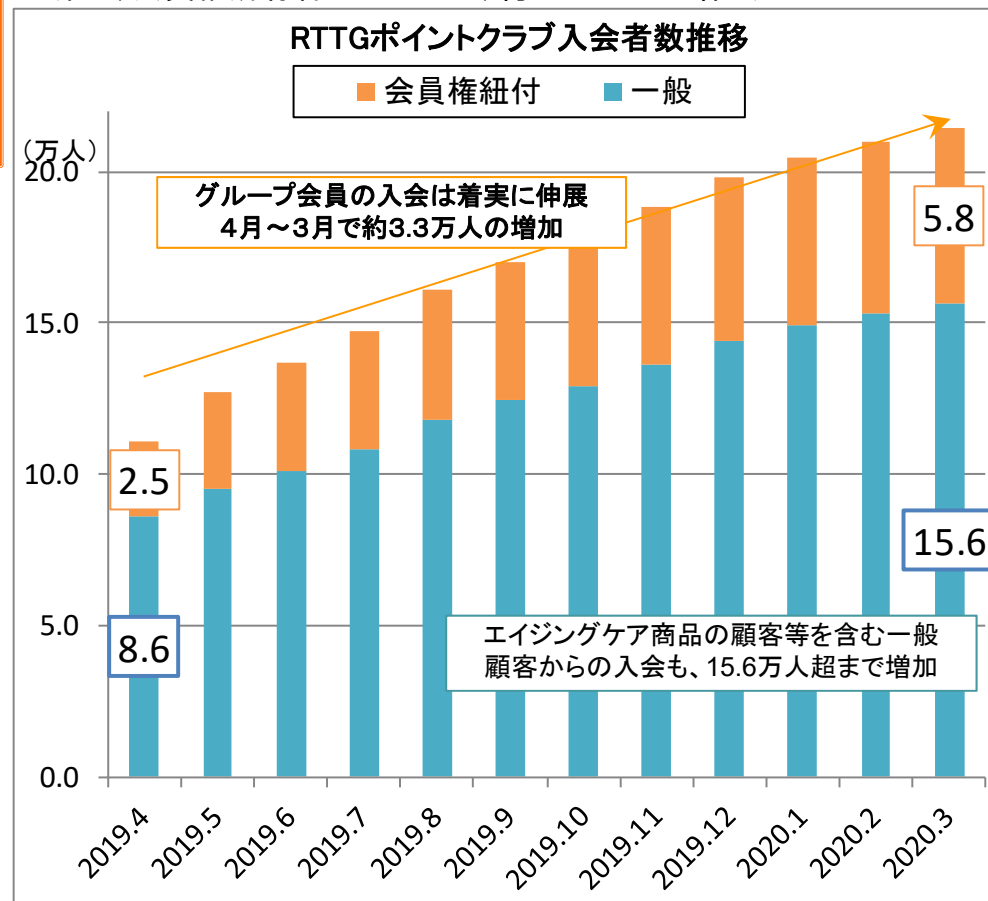
<シナジー創出に向けた機能の活用>

- プッシュ通知⇒グループの様々なプランやキャンペーン情報等を告知。リアルタイムで利用を喚起する情報を発信。
- グループ情報の発信⇒会員への認知向上に向け、グループの様々な商品、サービスの充実等に関する情報を配信。4月には、クリニックでのグループ会員向け遠隔診療サービス開始を告知。

ポイント獲得/利用対象



一般も含めたTotalのポイントクラブ入会は、2020.3末時点で約21.4万人(うち、会員権所有者については、約5.8万人まで増加)



ESGに関する当社グループの概況①

リゾートトラストグループ経営理念

ホスピタリティ憲章(行動規範)

中期経営計画「Connect 50」

今中期計画における環境認識(社会的ニーズ)

- ・富裕層および一般向け滞在・宿泊施設需要(国内・海外)
- ・観光立国、地方創生、働き手不足、ダイバーシティ推進
- ・ハイクオリティで安心なシニア向けサービス・施設の拡充
- ・健康の維持、早期発見による予防医療ニーズの高まり
- ・高度先進医療の研究開発、エイジングケア事業の展開



社会課題の解決
企業価値の
持続的向上

<ESG課題に基づく整理>



| | 当社グループ事業における重要性(リスクと機会) | 個別取り組み事例 |
|--------------|--|--|
| E (環境) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境との調和、生態系の保全 ・開発時の負荷低減、省エネルギー、省資源、リサイクル促進、汚染防止 <p><リゾート事業における美しい自然は、最も魅力のあるかけがえのない財産></p> <p>関連方針:環境方針(2005年制定)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・LED化、メガソーラー、エコステイ ・エコカーの使用 ・おりがみアクション(生物多様性) ・レインフォレストアライアンス認証のコーヒー豆使用 ・開発時の植樹、グリーンキャンペーン 等 |
| S (社会) | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進等生産性向上による、働き手不足への対応 ・余暇・健康・美を創出するホスピタリティ産業における女性の活躍 ・世の中の変化のスピードに対応する人財の「多様性」 <p><グループの各事業で、「ホスピタリティ」が共通の強みとなる重要な理念></p> <p>中期目標:男性育児休業取得率50%(2024年3月)、女性管理職比率25%(2025年4月) 年間休日数(ホテル従業員)105日→120日(労働時間2,085H→1,920H)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用の充実(各種賞受賞) ・労働時間の見直し、削減、休日増加 ・ダイバーシティ推進室設置、活動推進 ・健康経営宣言、ホワイト500 ・くるみん認証取得、各種社内制度充実 ・システム化推進による働き方改革の推進 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化・地方創生へ貢献、インバウンドに対応した施設の拡充 ・医療機関との共同研究・技術革新「がんで大切な人を亡くさない社会」へ ・介護施設・サービスの拡充により安心して豊かな暮らしを創造 <p><余暇、健康、医療に関するサービスを通じ、お客様のしなやかな人生に貢献></p> <p>今中計期間:芦屋・熊本・横浜等、地域・行政との調和・連携を重視したホテル開発 メディカル事業拡大による利益倍増(シニアライフ施設は約1,500室→3,000室へ)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現地採用(地域での雇用創出) ・地産地消、食育・地域活動 ・自然体験の企画、参加 ・施設、商品の安全・品質確保 ・健診設備充実、医療関連・介護施設の拡充 ・BNCT(がん治療)機器開発:2019年11月治験開始 |
| G (ガバナンス) | <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの強固な信頼関係、各種リスクマネジメント ・経営の透明性確保(社外取締役比率向上、ダイバーシティ推進) ・独自性の高いビジネスゆえの企業経営としてのガラパゴス化リスクを防止 <p><信頼を失うことが、最大のリスク></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体制:監査等委員会設置会社 ・任意委員会:2(報酬諮問、指名諮問) ・社外取締役比率:35.0%、女性取締役比率:11.8% ・リスク管理委員会設置、体制の拡充 |

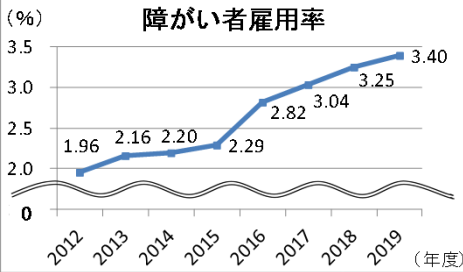
ESGに関する当社グループの概況②

<ESGに関連する社外からの評価>

(直近の取得)

| | | |
|---|---|--------------|
|  | 健康経営優良法人認定を 2017年より4年連続で取得 (経済産業省、日本健康会議) | 2020年 2月 |
| | 「令和元年度 障害者雇用職場改善好事例」の奨励賞 (高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞)を受賞 (主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 後援:厚生労働省) | 2020年 1月 |
|  | 「ISO27001」(情報セキュリティマネジメントシステム規格)新たに本社・支社の一部にて取得(2015年～取得開始) | 2019年 10月 |
|  | 令和元年度「あいち女性輝きカンパニー」優良企業として選定(愛知県) | 2019年 10月 |
|  | 「健康な食事・食環境(スマートミール)」認証制度にて、弊社従業員食堂24か所が最上位の三つ星を取得 | 2019年 10月 |
|  | 「ISO14001」(環境マネジメントシステム規格)主要な37ヶ所の事業所にて取得(2005年～取得開始) | 2019年 7月 |
|  | MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ 指数構成銘柄に選定(MSCI) | 2019年 6月 |
|  | 2019年度「SNAMサステナビリティ・インデックス」投資対象銘柄に選定 (損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント) | 2019年 6月 |
|  | 平成30年度愛知県ファミリー・フレンドリー企業表彰「イクメン・イクボス企業賞」 受賞(愛知県) | 2019年 2月 |

| | | |
|--|---|-------------|
|  | 次世代認定マーク「くるみん」を2019年に2回目の取得(厚生労働省) ※初回は2016年に取得 | 2019年 1月 |
| | 平成29年度東京都障害者雇用優良取組企業 「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」受賞(東京都) | 2017年 9月 |
| | 「平成27年度 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞(障害者雇用優良事業所)」を受賞 (独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 2015年 9月 |
|  | 平成26年度ダイバーシティ経営企業100選 (経済産業省) | 2015年 3月 |
| | 「障害者雇用職場改善好事例」平成25年度最優秀賞 「厚生労働大臣賞」を受賞 (主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 後援:厚生労働省) | 2013年 9月 |
|  | 「厚生労働大臣賞」受賞に関連した、天皇皇后両陛下による 東京本社事務支援センターへの行幸啓(当時) | |



參考資料

<参考> 2020年3月期の主な動き

1. グループポイント制度『RTTGポイントクラブ』運用スタート(2019年4月)
2. 第46回定時株主総会の終結の時をもって、「買収防衛策」を非継続(2019年6月27日)
3. 第27回「リゾートトラストレディス」開催(2019年5月31日～6月2日 於グランディ浜名湖ゴルフクラブ)
4. 「ダンロップ・スリクソン福島オープン」開催コースを、昨年に引き続き提供(2019年6月27日～6月30日 於グランディ那須白河ゴルフクラブ)
5. 介護付有料老人ホーム『トラストガーデン荻窪』(東京都杉並区)運営開始(2019年8月1日)
6. 当社グループのトラストガーデン株式会社が、株式会社LIXILより株式会社シニアライフカンパニーの株式を取得、同社所有5施設(390室)の運営を開始(2019年9月2日)
7. 『ホテルトラスティ プレミア 日本橋浜町』(東京都中央区)開業(2019年9月12日)
8. 『ホテルトラスティ プレミア 熊本』(熊本県熊本市)開業(2019年10月9日)
9. 会員制総合メディカル倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」『ハイメディック東京日本橋コース』会員権販売開始(2019年10月16日)
10. 当社グループの株式会社CIGSによる悪性黒色腫と血管肉腫を対象としたホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の治験開始(2019年11月)
11. ENGLISH GARDENローザンベリー多和田「大地のレストラン」(滋賀県米原市)の受託運営を開始(2020年1月8日)
12. 「令和元年度 障害者雇用職場改善好事例」(主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 後援:厚生労働省)の奨励賞(高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞)を受賞(2020年1月29日)
13. 「ザ・カハラクラブ ハワイ」会員権を、当社グループの会員権をお持ちの方向け限定で販売開始(2020年2月)
14. 2020年3月期の業績予想及び配当予想の修正を公表(2020年3月17日)

<参考>2021年3月期の主な動き

- 1.完全会員制リゾート「横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」および「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」
開業予定(6月17日開業予定を延期、現状は開業時期未定)
- 2.日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニックオープン(部門毎に順次開業)。
・外来診療:5月11日サービス開始 ・健康診断/人間ドック部門:5月18日サービス開始
3. 会員制総合メディカル倶楽部「ハイメディック東京日本橋コース」検診開始予定(6月予定)

※例年開催しておりました第28回「リゾートトラストレディス」および会場を提供していた「ダンロップ・スリクソン福島オープン」の今年度の開催については、中止となっております。

<参考> 会員権契約状況(契約高)(4-3月)

| | (単位 億円) | | | |
|--------------|---------------|-----------------|------|-------------------------------|
| | 2020年3月 実績 | 2019年3月 前年実績 | 前年増減 | ※ 2020年3月 販売進捗率 (累計契約高) |
| ザ・カハラクラブ ハワイ | 19 | — | +19 | — |
| 横浜 ベイコート | 227 | 130 | +97 | 68.8% |
| ラグーナベイコート | 109 | 196 | △87 | 96.9% |
| XIV 六 甲 SV | 8 | 12 | △4 | 48.6% |
| 芦屋 ベイコート | 79 | 62 | +17 | 85.6% |
| XIV 湯河原 離宮 | 24 | 20 | +4 | 77.5% |
| 他 既存 ホテル | 102 | 97 | +5 | — |
| 会員権セグメント計 | 567 | 516 | +51 | — |
| ゴルフ | 4 | 3 | +2 | — |
| ハイメディック | 57 | 53 | +4 | — |
| 合計 | 628 | 572 | +56 | — |

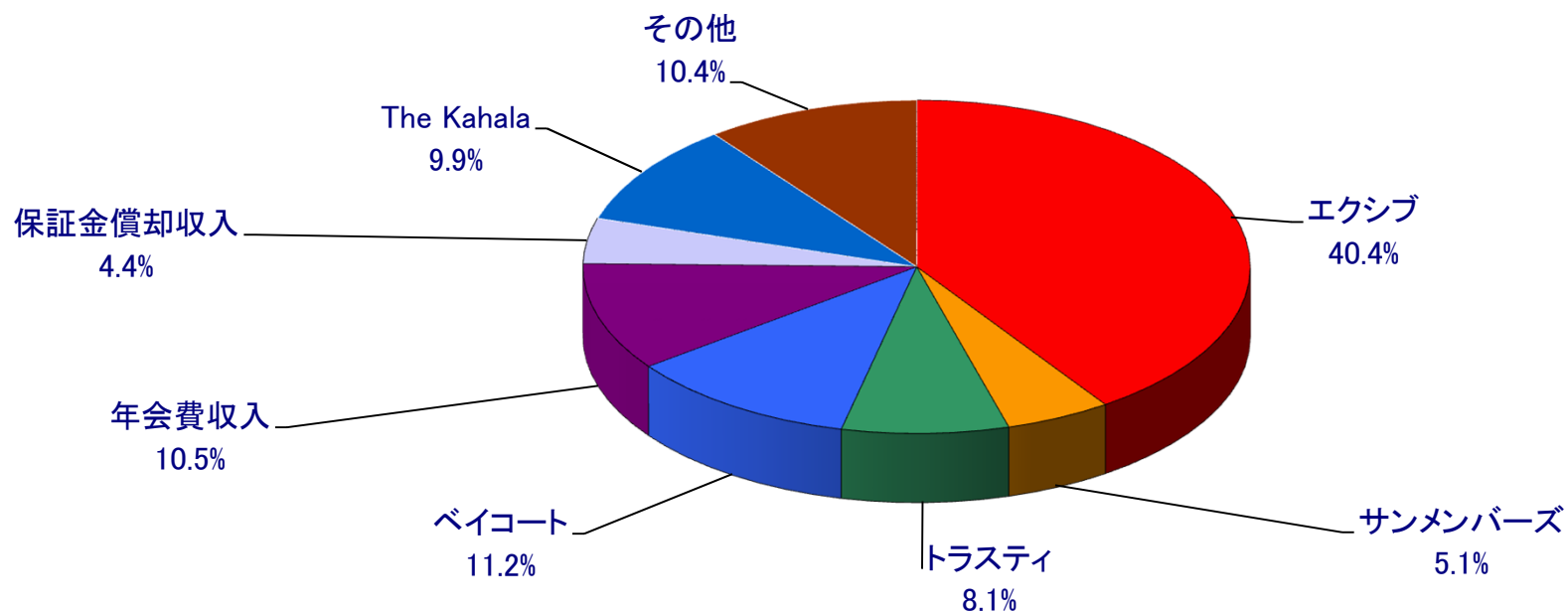
| <参考> | | (単位 億円) |
|-----------------|------------|---------|
| 2020年3月 期初計画 | 期初計画 増減 | |
| — | +19 | |
| 144 | +82 | |
| 137 | △28 | |
| 20 | △12 | |
| 79 | △0 | |
| 35 | △11 | |
| 121 | △19 | |
| 536 | +31 | |
| 2 | +2 | |
| 61 | △4 | |
| 599 | +29 | |

※ 当初総契約高(回収予定額)に対する進捗率

<参考> 会員権事業・物件別売上高(4-3月)

| (単位 億円) | | | | <参考> (単位 億円) | | |
|--------------|---------------|-----------------|-------|-----------------|-------|-----|
| | 2020年3月 実績 | 2019年3月 前年実績 | 前年増減 | 2020年3月 期初計画 | 計画増減 | |
| ザ・カハラクラブ ハワイ | 8 | - | +8 | - | +8 | |
| 横浜ベイコート | { 202 | { 117 | +85 | { 130 | +71 | |
| ラグーナベイコート | 98 | 178 | △81 | 125 | △27 | |
| XIV 六 甲 SV | 7 | 11 | △4 | 18 | △11 | |
| 芦屋ベイコート | 71 | 56 | +15 | 72 | △1 | |
| XIV 湯河原離宮 | 20 | 17 | +2 | 32 | △13 | |
| 他既存ホテル | 83 | 70 | +13 | 71 | +12 | |
| ホテル会員権計 | 489 | 449 | +40 | 449 | +40 | |
| 繰延売上 | 横浜ベイコート | { △107 | { △62 | △44 | { △69 | △38 |
| | ラグーナベイコート | - | 205 | △205 | - | - |
| | XIV 六 甲 SV | - | 47 | △47 | - | - |
| 全ホテル計 | 382 | 638 | △256 | 380 | +2 | |
| その他 | 7 | 2 | +5 | 11 | △4 | |
| 会員権セグメント計 | 389 | 640 | △251 | 391 | △2 | |

<参考>ホテルレストラン等事業・業態別売上(4-3月)



| | (百万円) | | <参考> (百万円) |
|------------|---------------|-----------------|-----------------|
| | 2020年3月 実績 | 2019年3月 前年実績 | 2020年3月 期初計画 |
| エキシブ | 32,626 | 34,802 | 37,451 |
| サンメンバーズ | 4,117 | 4,719 | 5,002 |
| トラステイ | 6,511 | 6,631 | 8,140 |
| バイコート | 9,035 | 7,116 | 11,268 |
| 年会費収入 | 8,449 | 7,694 | 8,408 |
| 保証金償却収入 | 3,544 | 3,189 | 3,618 |
| THE KAHALA | 7,998 | 8,260 | 8,174 |
| その他 | 8,377 | 7,967 | 8,566 |
| 合計 | 80,659 | 80,383 | 90,630 |

<参考>ホテルレストラン運営状況(4-3月)

宿泊者数

(千人)

| | 2018年3月期 通期実績 | 2019年3月期 通期実績 | 2020年3月 通期実績 | (参考) 2020年3月 期初計画 |
|---------|------------------|------------------|-----------------|-------------------------|
| エクシブ | 1,864 | 1,839 | 1,761 | 1,944 |
| サンメンバーズ | 431 | 418 | 366 | 435 |
| トラスティ | 696 | 689 | 685 | 797 |
| ベイコート | 145 | 217 | 281 | 364 |

稼働率

(%)

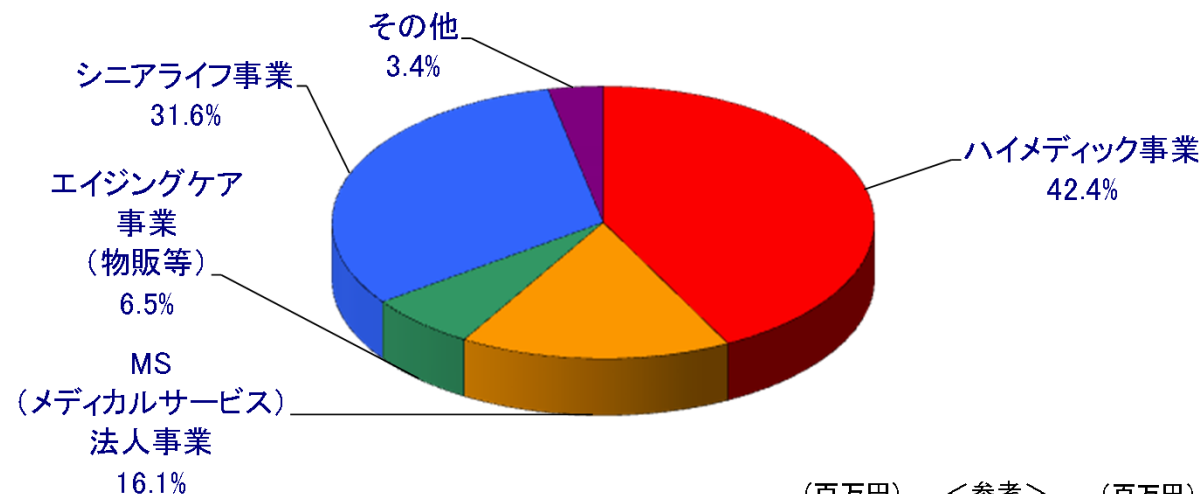
| | 2018年3月期 通期実績 | 2019年3月期 通期実績 | 2020年3月 通期実績 | (参考) 2020年3月 期初計画 |
|---------|------------------|------------------|-----------------|-------------------------|
| エクシブ | 50.8 | 50.2 | 48.0 | 52.4 |
| サンメンバーズ | 60.4 | 60.4 | 57.5 | 64.4 |
| トラスティ | 91.7 | 90.4 | 77.0 | 90.7 |
| ベイコート | 54.6 | 48.3 | 43.1 | 55.1 |

消費単価

(円)

| | 2018年3月期 通期実績 | 2019年3月期 通期実績 | 2020年3月 通期実績 | (参考) 2020年3月 期初計画 |
|---------|------------------|------------------|-----------------|-------------------------|
| エクシブ | 19,340 | 18,915 | 18,523 | 19,259 |
| サンメンバーズ | 11,139 | 11,268 | 11,228 | 11,482 |
| トラスティ | 9,752 | 9,612 | 9,492 | 10,205 |
| ベイコート | 32,940 | 32,671 | 32,098 | 30,898 |

＜参考＞メディカル事業・部門別売上高(4-3月)



| | (百万円) | | ＜参考＞ (百万円) |
|--------------------|---------------|-----------------|-----------------|
| | 2020年3月 実績 | 2019年3月 前年実績 | 2020年3月 期初計画 |
| ハイメディック事業 | 16,479 | 15,437 | 16,731 |
| MS(メディカルサービス)法人事業※ | 6,275 | 6,093 | 6,211 |
| エイジングケア事業(物販等) | 2,540 | 2,743 | 3,076 |
| シニアライフ事業 | 12,299 | 10,401 | 13,627 |
| その他(消去含む) | 1,272 | △196 | 1,373 |
| 合計 | 38,867 | 34,478 | 41,020 |

※一般向け医療施設運営支援等

＜シニアレジデンス運営状況＞

| | 2020年3月 実績 | 2019年3月 前年実績 | 2020年3月 期初計画 |
|-------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 全施設平均入居率(%) | 88.5 | 86.4 | 94.7 |
| 居室数合計(室) | 2,100 | 1,659 | 2,100 |

「らいふアシスト馬車道」運営開始(2018年7月)、「トラストグレイス白壁」開業(2019年3月)

「トラストガーデン荻窪」運営開始(2019年8月)、新規取得5施設(390室)運営開始(2019年9月)

<参考>繰延収益(未実現収益) ※通期ベース

《未開業物件の販売における計上方法》※詳細はP.32参照

登録料:契約時に「売上」に計上

不動産売上・不動産原価: ホテル開業時まで繰延べとなる(契約時には収益計上されない)

※販売した期に不動産収益が計上されることを前提とし(±0)、繰延べられる期には△、実現する期には+として表記

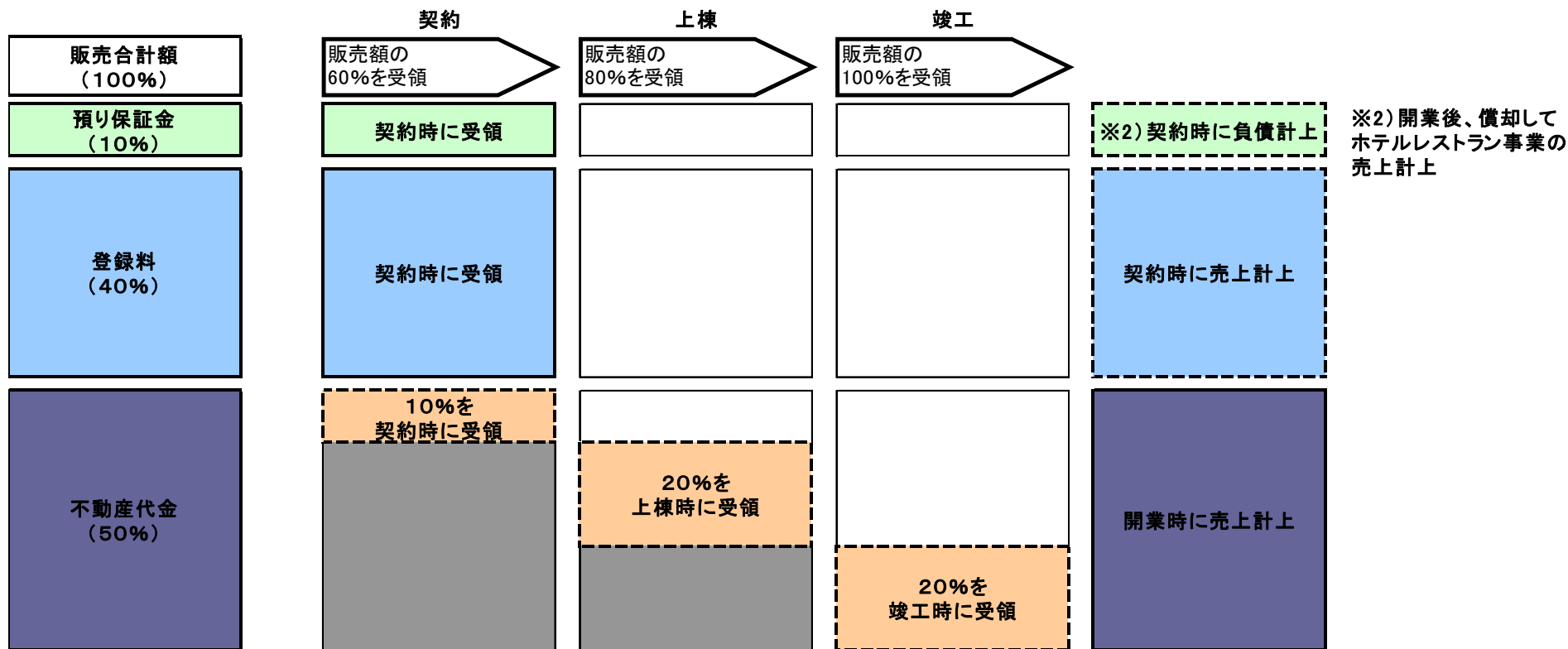
(単位:億円)

| 事業年度 | 2015年3月期実績 | | 2016年3月期実績 | | 2017年3月期実績 | | 2018年3月期実績 | | 2019年3月期実績 | | 2020年3月期実績 | |
|--------------------------------|-------------|-------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|------------|-------|------------|------|
| 未開業(繰延)物件 契約高 | 湯河原 鳥羽別邸 | 92億 118億 | 六甲SV 芦屋 湯河原 | 45億 301億 123億 | ラグーナ 六甲SV 芦屋 | 200億 32億 125億 | 横浜 ラグーナ 六甲SV | 72億 208億 25億 | 横浜 | 130億 | 横浜 | 227億 |
| 繰延(不動産売上・利益) | 売上 | 利益 | 売上 | 利益 | 売上 | 利益 | 売上 | 利益 | 売上 | 利益 | 売上 | 利益 |
| 横浜ベイコート | 繰延(△) | | | | | | △ 35 | △ 12 | △ 62 | △ 21 | △ 105 | △ 34 |
| | 繰延実現(+) | | | | | | | | | | | |
| ラグーナベイコート | 繰延(△) | | | | △ 102 | △ 32 | △ 104 | △ 34 | | | | |
| | 繰延実現(+) | | | | | | | | +205 | ※ +71 | | |
| XIV六甲SV | 繰延(△) | | △ 21 | △ 4 | △ 14 | △ 3 | △ 11 | △ 2 | | | | |
| | 繰延実現(+) | | | | | | | | +47 | ※ +11 | | |
| 芦屋ベイコート | 繰延(△) | | △ 153 | △ 54 | △ 61 | △ 22 | | | | | | |
| | 繰延実現(+) | | | | | | | | +212 | ※ +82 | | |
| XIV湯河原離宮 | 繰延(△) | △ 47 | △ 13 | △ 55 | △ 17 | | | | | | | |
| | 繰延実現(+) | | | | | +102 | ※ +34 | | | | | |
| XIV鳥羽別邸 ※2014年3月期より 販売開始 | 繰延(△) | △ 63 | △ 17 | | | | | | | | | |
| | 繰延実現(+) | | | +98 | ※ +30 | | | | | | | |
| 影響額合計(単年度) | △ 110 | △ 30 | △ 132 | △ 46 | △ 75 | △ 23 | +62 | +34 | +189 | +61 | △ 105 | △ 34 |

※繰延実現利益(+)の実績値には、予定原価と確定原価の差異を含む

| 連結業績ハイライト | 2015年3月期実績 | | 2016年3月期実績 | | 2017年3月期実績 | | 2018年3月期実績 | | 2019年3月期実績 | | 2020年3月期実績 | |
|---------------------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 開示数値(計上数値) | 1,204 | 160 | 1,422 | 186 | 1,435 | 135 | 1,654 | 177 | 1,795 | 189 | 1,591 | 116 |
| ① 繰延(+・実現)影響額を除いた数値 | 1,314 | 191 | 1,554 | 232 | 1,510 | 158 | 1,592 | 143 | 1,607 | 128 | 1,697 | 150 |
| ② ①+開業関連費用を除いた数値 | 1,314 | 191 | 1,554 | 238 | 1,510 | 170 | 1,592 | 162 | 1,607 | 144 | 1,697 | 160 |

〈参考〉ホテル会員権の計上(未開業物件の場合)



(例) 会員権価格が1,000万円のケース

| | 契約 | 上棟 | 竣工 | 開業 | 収益計上 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|
| 預り保証金 100万円 | 100万円 | | | | ※2) B/S負債計上 |
| 登録料 400万円 | 400万円 | | | | 売上計上(契約時) |
| 不動産代金 500万円 | (*) 100万円 | (*) 200万円 | (*) 200万円 | | 売上計上(開業時) |
| 契約高合計 1,000万円 | 600万円 | 200万円 | 200万円 | | |
| 売上計上額 | 400万円 | 0万円 | 0万円 | (※1) 500万円 | |
| | | | | 売上原価 350万円 | |
| | | | | 年会費 13万円 | |

(※1) 不動産代金については、開業するまで繰り延べられ、開業時に売上計上。



RESORTTRUST GROUP

リゾートトラスト株式会社 IR部

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/index.html>

※ 本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包する物です。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。